

# 教務だより

神石高原町立三和中学校  
教務部  
令和元年9月2日(月)

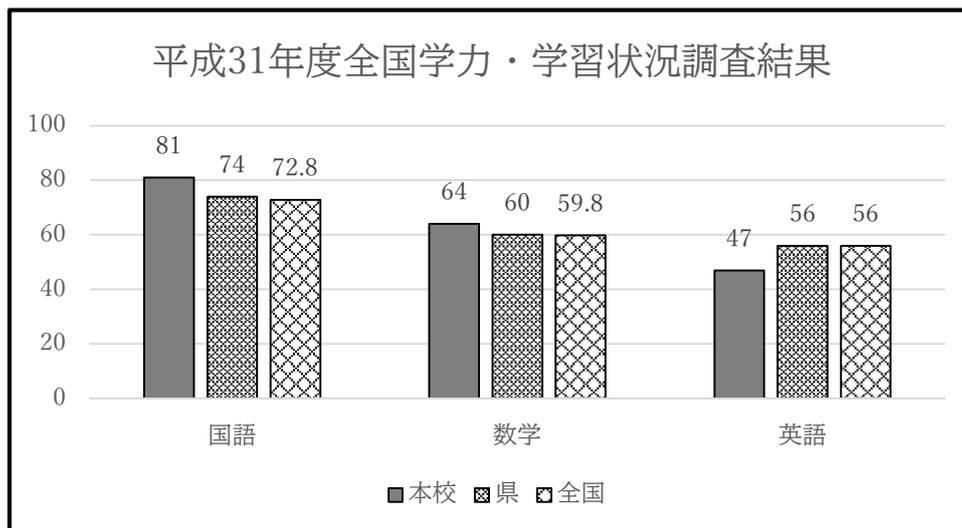
## 平成31年度 全国学力・学習状況調査の結果

全国学力・学習状況調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象に、

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

ことを目的として、文部科学省が、学校の設置管理者である都道府県教育委員会、市町村教育委員会等の協力を得て実施するものです。

本年度は、4月18日(木)に調査を実施し、平均正答率(%)は次のような結果(本校並びに県平均は、小数第1位を四捨五入した数値が公表)でした。



国語は8.2pt、数学は4.2pt 全国平均より上回り、英語が9pt 全国平均より下回った。このことから、国語、数学で基礎的・基本的な学習内容はおおむね身に付いているが、英語は課題があると考えられる。

近年、学習内容に係る知識・技能を活用する力を問う問題が注目され、公立高校入試の問題の傾向も以前までのものと大きく変わってきています。具体的には、知識の習得だけでは対応できず、知識を組み合わせて考え、自分の考えをまとめて文章等で表現する力(活用力)が求められる問題が多く出題されています。

2学期のスタートにあたって、「基礎・基本」を徹底する指導方法の工夫改善を図ります。とりわけ、英語科では、英単語力を身に付けるため、各学年の自主ノートの取り組みと連携し、基本的な英単語や英語構文を書くことを徹底させたり、読解力を身につけるため、授業内で全文音読ののち要約をすることでいった指導を徹底したりして、課題の改善を図ります。また、全教科で組織的に、「ねらいに迫る深い学びとなる議論」のある授業づくりを行っていきます。